

履修モデル（ソーシャルワーク）

必修科目：◎  
 選択科目：○  
 ※（ ）内の数字は単位数

	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	1年		2年	
			前期	後期	前期	後期
共通科目	福祉学研究に必要な研究倫理や研究方法などの能力を修得している。	福祉学分野の最新の研究動向と多様な研究方法などの理解とともに、福祉研究を実践する際の規範と責務に基づく適切な判断力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉学特論(2) ◎社会福祉研究方法特論Ⅰ(2) ◎社会福祉研究倫理特論(2) ○社会福祉研究英語特論(2)			
専修科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な応用能力を修得するための科目を配置する。	○ソーシャルワーク特論(2) ○子ども家庭福祉特論(2) ○障害児・者福祉特論(2)	○福祉医療政策特論(2) ○社会福祉研究方法特論Ⅱ(2) ○法律学特論(2)	○スーパービジョン特論(2) ○低所得者福祉特論(2) ○国際社会福祉特論(2)	○保健医療福祉特論(2) ○地域共生福祉特論(2)
実践科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な応用能力を修得するための科目を配置する。				○ソーシャルワーク実践学(2) ○福祉・医療臨床実践学(2)
研究科目	自ら研究課題を設定し、研究活動を実践できる能力を修得している。	自己の研究課題の設定にはじまり、研究計画の立案・調査・分析から論文の作成、研究成果の発表等を通して基礎的な研究能力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉特別研究指導(8)			

※点線で囲まれた科目は、自身の研究・実践に応じて選択

履修モデル（政策・経営）

必修科目：◎  
 選択科目：○  
 ※（ ）内の数字は単位数

	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	1年		2年	
			前期	後期	前期	後期
共通科目	福祉学研究に必要な研究倫理や研究方法などの能力を修得している。	福祉学分野の最新の研究動向と多様な研究方法などの理解とともに、福祉研究を実践する際の規範と責務に基づく適切な判断力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉学特論(2) ◎社会福祉研究方法特論Ⅰ(2) ◎社会福祉研究倫理特論(2) ○社会福祉研究英語特論(2)			
専修科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を修得するための科目を配置する。	○ソーシャルワーク特論(2) ○子ども家庭福祉特論(2) ○障害児・者福祉特論(2)	○福祉医療政策特論(2) ○福祉経営学特論(2) ○法学特論(2) ○社会福祉研究方法特論Ⅱ(2)	○低所得者福祉特論(2) ○国際社会福祉特論(2) ○高齢者福祉特論(2) ○スーパービジョン特論(2)	○地域共生福祉特論(2) ○保健医療福祉特論(2)
実践科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を修得するための科目を配置する。				○ソーシャルワーク実践学(2) ○福祉・医療臨床実践学(2)
研究科目	自ら研究課題を設定し、研究活動を実践できる能力を修得している。	自己の研究課題の設定にはじまり、研究計画の立案・調査・分析から論文の作成、研究成果の発表等を通して基礎的な研究能力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉特別研究指導(8)			

※点線で囲まれた科目は、自身の研究・実践に応じて選択

履修モデル（保育・療育）

必修科目：◎  
 選択科目：○  
 ※（ ）内の数字は単位数

	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	1年		2年	
			前期	後期	前期	後期
共通科目	福祉学研究に必要な研究倫理や研究方法などの能力を修得している。	福祉学分野の最新の研究動向と多様な研究手法などの理解とともに、福祉研究を実践する際の規範と責務に基づく適切な判断力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉学特論(2) ◎社会福祉研究方法特論Ⅰ(2) ◎社会福祉研究倫理特論(2) ○社会福祉研究英語特論(2)			
専修科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を修得するための科目を配置する。	○臨床発達心理学特論(2) ☆ ○子ども家庭福祉特論(2) ○障害児・者福祉特論(2) ○ソーシャルワーク特論(2)	○言語発達とその支援(2) ☆ ○発達心理学特論(2) ☆ ○保育学特論(2) ○社会福祉研究方法特論Ⅱ(2)	○発達臨床の理論と実践特論(2) ☆ ○教育分野に関する理論と支援の展開(2) ☆ ○低所得者福祉特論(2) ○スーパービジョン特論(2)	○地域共生福祉特論(2) ○福祉医療政策特論(2) ○保健医療福祉特論(2)
実践科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を修得するための科目を配置する。	○療育実践実習Ⅰ(2) ☆	○子育て・保育相談支援実践学(2) ☆ ○療育実践実習Ⅱ(2) ☆	○療育実践実習Ⅲ(2) ☆	○ソーシャルワーク実践学(2) ○療育実践実習Ⅳ(2) ☆
研究科目	自ら研究課題を設定し、研究活動を実践できる能力を修得している。	自己の研究課題の設定にはじまり、研究計画の立案・調査・分析から論文の作成、研究成果の発表等を通して基礎的な研究能力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉特別研究指導(8)			

※ 点線で囲まれた科目は、自身の研究・実践に応じて選択  
 ※ 二重線で囲まれた科目は、心理学専攻修士課程開講科目  
 ※ ☆印の科目は、「臨床発達心理士資格」の受験資格に対応する授業科目

- 「臨床発達心理学特論」は心理学専攻共通科目
- 「臨床発達心理士資格」の受験資格取得を目指す院生は、心理学専攻修士課程の開講科目に配置されている「発達心理学特論」、「教育分野に関する理論と支援の展開」、「言語発達とその支援」の3科目（心理学専攻修士課程開講科目）を含む、上表☆印の科目を履修、修得すること。
- 「療育実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」においては、課程修了のための修得単位としては認めず、あくまでも資格取得を目指す科目である。

履修モデル（仏教福祉・国際福祉）

必修科目：◎  
 選択科目：○  
 ※（ ）内の数字は単位数

	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	1年		2年	
			前期	後期	前期	後期
共通科目	福祉学研究に必要な研究倫理や研究方法などの能力を修得している。	福祉学分野の最新の研究動向と多様な研究方法などの理解とともに、福祉研究を実践する際の規範と責務に基づく適切な判断力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉学特論(2) ◎社会福祉研究方法特論Ⅰ(2) ◎社会福祉研究倫理特論(2) ○社会福祉研究英語特論(2)			
専修科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な応用能力を修得するための科目を配置する。	○ソーシャルワーク特論(2) ○子ども家庭福祉特論(2) ○障害児・者福祉特論(2)	○社会福祉研究方法特論Ⅱ(2) ○福祉医療政策特論(2) ○法律学特論(2)	○国際社会福祉特論(2) ○仏教社会福祉特論(2) ○低所得者福祉特論(2) ○高齢者福祉特論(2) ○スーパービジョン特論(2)	○地域共生福祉特論(2)
実践科目	福祉学分野に関する高度な理論的知識と応用的能力を修得している。	福祉学分野における専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識の涵養とともに、俯瞰的なものの見方や実践的な応用能力を修得するための科目を配置する。				○ソーシャルワーク実践学(2) ○福祉・医療臨床実践学(2)
研究科目	自ら研究課題を設定し、研究活動を実践できる能力を修得している。	自己の研究課題の設定にはじまり、研究計画の立案・調査・分析から論文の作成、研究成果の発表等を通して基礎的な研究能力を修得するための科目を配置する。	◎社会福祉特別研究指導(8)			

※点線で囲まれた科目は、自身の研究・実践に応じて選択